

Campus Life

No.186 2025.9



第74回全日本大学野球選手権大会出場
令和7年6月12日(木)明治神宮野球場にて果敢に戦いました。



異文化交流会

異文化の友達を作ろう！
令和7年6月10日(火)北
口校舎ダイニングさくら
にてインドのゴア大学・
アメリカのストーニーブ
ルック大学の留学生と楽
しく交流しました。

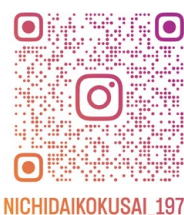
国際関係学部TOPICS

国際関係学部公式 Instagram。

Instagram でしか発信できない本学の日常や沢山の魅力を配信しています。

学生インフルエンサーも活躍中！

「フォロー＆いいね」をお願いします。



NICHIDAIKOKUSAI_1979



学部長・短期大学部（三島校舎）次長ご挨拶



日本大学国際関係学部長
渡邊 武一郎

酷暑の夏も終わり、虫の声が聞こえる季節となりました。キャンパスから望む富士山が清々しく秋晴れに映えています。後学期も始まり、学生の皆さんは毎日元気に大学生生活を過ごされていることと思います。

令和7年度は国際関係学部には692名、短期大学部ビジネス教養学科に48名、専攻科食物栄養専攻に17名、大学院国際関係研究科には8名、更には、三島高等学校に526名、三島中学校に55名と、三島キャンパス全体で1,346名の新生を迎えることが出来ました。キャンパスで学ぶ全ての生徒、学生、大学院生を合わせると4,606名となります。



短期大学部(三島校舎)次長
東馬 宏和

厳しい暑さも和らぎ、秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より短期大学部（三島校舎）の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

学生の皆様も夏休みを経て、それぞれが新しい発見や成長の機会があったことと思います。充実した時間を過ごした人もいれば、新たな課題を感じた人もいるかもしれません。しかし、そのすべてが学びにつながり、今後の歩みに

国際関係学部では今年度から新たに、会計学の水谷公彦先生、国際開発・国際協力の藤城一雄先生と小早川徹先生、国際関係・国際法の稲角光恵先生、体育の加藤秀治先生、観光の篠田香織先生をお迎えしました。これまで以上に国際関係学部の学びの特色を強め、学生の皆さんのキャリア形成をサポートできる体制を整えています。

建設中の図書館と管理棟の複合施設は9月に完成し、令和8年度からの使用に向けて図書等の引っ越しが始まりました。ガラス張りの外観による明るい館内にはブックツリーを備え、利用者が静かに勉強できるスペースが設置されています。PBLやグループワークに最適なラウンジも設置され、学生の皆さんには積極的に利用して欲しいと思います。今後はキャンパスの新たなアイコンになることと思います。

これからも国際関係学部では学生の皆さんの修学意欲、好奇心により一層応えるべく、教職員が一丸となりサポートする事を約束します。三島キャンパスで実り多い時間を過してください。

生かされる大切な経験です。

2年間の短い学修期間の学生の皆様にとっては、常に卒業後の出口をしっかりと見据える必要があります。就職活動や編入学においては、これまで自分が何を学び、どのように成長してきたかを具体的に語れることが重要です。そのためにも、授業やゼミでの取り組みを記録に残したり、インターンシップやアルバイトでの経験を振り返ったりする習慣を持ってください。日々の小さな積み重ねが、やがて面接やエントリーシートで「強み」として生きてきます。

食物栄養学科及び専攻科食物栄養専攻では、小山ゆう先生、難波亜紀先生を令和7年度より准教授としてお迎えしました。また、学生の皆様にとって大切な実験・実習施設の機能を9号館から11号館4階へ移設しています。多くの学生、関係者の協力のもと令和7年9月より使用が可能となりました。今後も、万全の教育体制を維持し、卒業まで責任を持って支援してまいります。

三島キャンパス 告知板

後学期の奨学生募集

日本大学三島後援会奨学金(第1種)秋期

募集: 10月の予定

対象: 他の学内奨学金の給付を受けていない者で、自宅通学が不可能な地域からの下宿学生及び遠隔地域からの新幹線定期券通学の学生

給付額: 120,000円

なお、第1種春期の採用者であっても再申請可能です。

詳細は、学生課 (055-980-1901) へお問い合わせください。

保護者配信メール(さくら連絡網)未登録者の皆様へ

本学部では、さくら連絡網にご登録済みの保護者の皆様へ原則毎月一度、大学から情報を発信しております。ご登録いただきますとLINE等で情報を受け取ることが可能となります。未登録で新規登録をご希望の場合は、庶務課(055-980-0801)へお問い合わせください。

▶ 配信内容例

「台風接近による荒天が予想されるので、令和〇年〇月〇日の講義は休講します。」

「令和〇年〇月〇日に成績発送を行いますので、ご確認をお願いします。」

「本学部〇〇部が、全国大会へ出場します。引き続き、ご声援の程よろしくお願いします。」

新任教員の紹介

新任紹介

令和7年度は、以下のとおり、新たに8名の先生をお迎えしました。

国際関係学部

▶ 国際総合政策学科 6名

短期大学部（三島校舎）

▶ 食物栄養学科 2名

①研究テーマ

②自己紹介

③学生へのメッセージ



国際関係学部 国際総合政策学科

教授 小早川 徹



- ①持続可能な消費、環境エネルギー
- ②前職はJICAでエネルギー分野や南アジアへの支援を担当していました。インドとスリランカに計7年駐在していましたが、カレーは甘口派です。よろしくお願いします。
- ③今後重要性を増すインドやその周辺国を主なフィールドとして、持続可能な開発をどのように実現していけるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

国際関係学部 国際総合政策学科

教授 水谷 公彦



- ①会計、経営戦略、ガバナンス、ファイナンス
- ②令和7年4月1日付で着任しました水谷公彦です。37年間金融機関で勤務するとともに、日本大学で博士号を取得した実務家教員です。令和7年度前期は、会計学、簿記論、企業論、経営法務、国際金融論、自主創造の基礎を担当しています。理論と実務の双方を踏まえた実践的な授業をしようと考えています。趣味は旅行と食事です。国内外の様々なところに出かけ、人に出会うとともに、その土地の文化や風土に触れることを楽しみにしています。
- ③自ら学び、考え、自ら道を拓くべく大学生活を大いに充実したものにしてください。応援しています。

国際関係学部 国際総合政策学科

教授 稲角 光恵



- ①国際刑事法、国際人道法、ジェノサイド
- ②国際法、特に、国際刑事法と国際人道法の分野を専門とし、ジェノサイド罪などの国際法上の犯罪の処罰や、国際刑事裁判所について研究しています。戦争における民間人の犠牲に関する法規制を強化したいと考え、軍事目的と民間犠牲とを比較考慮する「比例性の原則」についても研究を始めています。
- ③大学生活では、色々な自由を満喫できる時間があると思います。「学ぶ自由」もその一つです。自分の興味関心を大切にしつつも、多様な分野の幅広い知識と視点に触れ、新しい発見と学ぶ自由を、ぜひ楽しんで下さい。平和・人権・環境など、国際社会の様々な問題を、皆さんと一緒に検討し議論できればと考えています。

国際関係学部 国際総合政策学科

教授 藤城 一雄



- ①住民主体による開発、フィールドワーク、ラテンアメリカ、国際協力
- ②海外協力隊員、JICA職員、JICA専門家として約30年間、国際協力の実務に従事し、ラテンアメリカのうちドミニカ共和国、パナマ、パラグアイ、エルサルバドルへの赴任経験、日本国内の農村開発研修、外国人材・多文化共生などの業務に従事してきました。担当授業は、ボランティア援助技術、地域研究（アメリカⅡ）、国際協力論、国際人口移動論、社会開発論、地域開発論、NGO／NPO論などです。
- ③身の回りで起こっている物事に関心を持ちましょう。日本国内及び開発途上国（フィリピンセブ島、中米エルサルバドルなど）のフィールドで学ぶ機会を作っていきますので、自分なりに考え、自分なりに行動していきましょう。特に、JICA海外協力隊への参加に関心のある学生は、是非、ご相談ください！

国際関係学部 国際総合政策学科

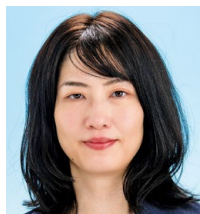
専任講師 加藤 秀治



- ①レクリエーション、スポーツ科学
- ②今年度より専任講師として採用となりました加藤秀治です。三島近郊で生活して数年経ちますが、便利でなおかつ過ごしやすく、とても良いところだと感じています。趣味はスポーツ観戦です。サッカーやF1などをよく観ています。将来の目標はF1の全レースを現地観戦することです。よろしくお願いします！
- ③大学を卒業してから振り返ると大学生活の4年間はあっという間に過ぎたように感じます。そのあっという間に過ぎ去る貴重な4年間で精一杯学び、精一杯楽しんでください。

国際関係学部
国際総合政策学科

専任講師 築田 香織



- ①宗教ツーリズム、ホスピタリティ
- ②私は宗教ツーリズムとホスピタリティについて研究しています。宗教ツーリズムは寺社仏閣への参拝や巡礼に関わるものです。特に、世界遺産になった高野山（和歌山県）を舞台に研究をしています。また、ホスピタリティでは観光客・地域住民・観光事業者の交流の在り方に興味を持っています。
- ③私はメーカーでの教育人事・海外営業、中高一貫校での英語教員、大学院生を経て、観光学研究者になりました。大学生の時はこんなキャリアを描くとは思っていませんでしたが、例えば大学生の時に教員免許を取ったことが結婚後の転職に役立ち、英語を勉強していたことが英語で論文執筆することにつながりました。過去が未来にどのようなにつながるかは誰にもわかりません。だからこそ、今、皆さんが興味を持ったことに飛び込み、それに全力で取り組むことが何より大事だと思います。大学生生活を満喫してください！



短期大学部（三島校舎）
食物栄養学科

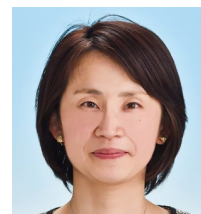
准教授 小山 ゆう



- ①運動選手の食と身体組成の影響について 等
- ②生粋の静岡県人です。公認スポーツ栄養士の資格を活かし、様々なことにチャレンジする毎日です。
- ③学生時代の中で出会う知識、経験、仲間は生涯の宝物になることと思います。学業・課外活動などから得られるものも大きいのです。ぜひ、多くのことにチャレンジすることができる学生生活にしてください。

短期大学部（三島校舎）
食物栄養学科

准教授 難波 亜紀



- ①農林水産物・食品に含まれる機能栄養成分を科学する
- ②こんにちは。食物栄養学科に着任しました。高め合っている学生達に負けず、研鑽していけたらと思います！どうぞよろしくお願い致します。
- ③自分のために使える時間は貴重です。たくさん経験し、未来の糧にしてください！

アスクラロスルガ株式会社とのパートナーシップ協定を締結しました！



地域振興及び地域福祉の増進に寄与することを目的とした相互協力を図るため、日本大学国際関係学部・短期大学部（三島校舎）はアスクラロスルガ株式会社とパートナーシップ協定を締結しました。連携対象事項は、スポーツを通じた地域振興及び地域福祉の増進のための相互協力に関すること、子供たちの健全育成に関すること、高齢者及び障がい者の生きがいづくりに関すること、スポーツ振興に関すること等です。

本学学生の発案と計画によりアスクラロ沼津と連携し、アップサイクルワークショップ等も実施しています。国際関係学部とアスクラロ沼津は地域社会への貢献や持続可能な社会に向けた取組を共に推進していきます。

国際関係学部国際総合政策学科より

春期短期語学研修の引率

国際総合政策学科 教授 寛 正治

円安で欧米への留学が困難になっても、海外への雄飛を志向して国際関係学部の門をたたいた学生に留学の機会を灯し続けるのは国際関係学部の使命だと思う。そのような考えのもと、若者に人気のセブにあるフィリピン屈指の名門サンカルロス大学と国際関係学部が提携を結ぶよう腐心した。提携後、2025年の春期短期海外語学研修を当該大学で行い5名の学生を引率した。このプロジェクトの宣伝をした時「自分は英語をしゃべれないしTOEIC®の点数も低いけれど、ずっと留学したいと思っていました。参加していいですか。」と聞いてきた学生がいる。

この学生は帰国便のチェックインには堂々と英語で対応し、独力でボーディングカードを取得した。まさにサンカルロス教育の本領発揮の瞬間だ。サンカルロス大学の先生はフレンドリーで、間違っても躊躇せずに話をさせる。本学がターゲットとすべきはこのような学生である。今までのように成績上位者から留学生を選ぶのではなく「できないから留学させる」に改めるべきだ。それが「今はできなくても、あの学部に行けば外国語ができるようになる。」との評判を生む。そしてそのような評判の積み重ねが選ばれる大学への道となる。



国際関係学部国際教養学科より

ゼミナール活動について

国際教養学科 教授 小川 直人

小川ゼミナールでは3年次の9月（夏季休暇中）に、軽井沢研修所を利用して2泊3日の合宿を行っています。この合宿の主テーマは「コミュニケーション力の向上」であり、グループディスカッションやディベートなど、他者と協力しながら思考力を駆使し創造性の高いコミュニケーションを実践します。そこで扱うテーマには、ゼミの研究テーマである異文化コミュニケーションと多文化共生に加え、就職活動でよく出題されるテーマも含まれます。また、合宿の副テーマとして「身体を動かそう」があり、屋外ではドッチボールやテニス、そして屋内では卓球やバドミントンなどのスポーツを楽しみます。その他、1日目の夜には花火を、2日目の夜には打ち上げパーティーを行い、3日目のチェックアウト後には、旧軽井沢銀座通りを散策します。3年次後期のゼミナールではチームワークに重点を置いた活動を行うため、その前にゼミ生間のコミュニケーションを活性化しておくためにも欠かせないイベントとなっています。



短期大学部(三島校舎) ビジネス教養学科より

フットサル大会

短期大学部(三島校舎)
ビジネス教養学科 教授 佐藤 聡彦

ビジネス教養学科では、6月28日(土)の午前9時より正午まで、学科所属の2年生を対象としたフットサル大会を行いました。応援のみも含めて学生は26名、教員は6名が参加し、大講堂にてチームプレイに汗を流しました。開催に当たっては、早くに2年生からの要望があったのですが、企画準備に時間を要し、梅雨時の実施となってしまいました。氷水で冷やした飲料を一人当たり1L分用意し、試合後にはスイカ割りも行いましたが、スイカは試合の合間に提供すればよかったかもしれません。

学科としては、スポーツ大会のような企画はこれまで検討したことはありませんでしたが、今期はとにかくやってみようとして実施しました。後日には筋肉痛を訴える学生もありましたし、寄稿者も両足にかなりの筋肉痛と右足首の軽い捻挫を経験しましたが、参加者全てには懸念された熱中症や大きな怪我もなく、無事に終えることが出来ました。

参加人数が少なめであったとはいえ、この催しは参加者にはおおむね好評だったこと、そしてこの話を受けての1年生からの学生間交流の催しの要望もありましたので、後期は学科全体でのバレーボール大会を企画したいと考えています。



短期大学部(三島校舎) 食物栄養学科より

校外実習に向けて

短期大学部(三島校舎)
食物栄養学科 准教授 小山 ゆう

食物栄養学科では、栄養士免許取得のために必要な科目がたくさんあります。特に、2年次の夏季休暇中に行われる校外実習は、学生にとって、栄養士業務の実際を学ぶ貴重な1週間です。給食が提供される施設の対象者は、病院、高齢者施設、教育施設、事業所など様々です。そのため、学生は事前に講義や高齢者体験や離乳食、治療食の調理など学内で複数の実習をこなします。特に一度に100食を提供する大量調理の実習は、調理する食材の量、作業工程など初めて経験するため、グループ内の協力が重要です。さらに、今年度は9号館閉鎖に伴い、桜アリーナ1階の学食の一部を使っての実習だったため大変だったと思います。しかし、喫食にご協力いただいた皆様に「おいしかった」と言う声をいただくことは、栄養士としてのやりがいにつながったようです。この気持ちを胸に、校外実習では多くの学びを得て、より大きく成長して戻ってくるのが学科教職員の毎年の楽しみです。



海外留学

本学部の留学プログラムの特徴は、通算2年を上限として休学せずに留学できることです。休学とは異なり、留学期間は修業年数に算入されるため、単位等の卒業要件を満たすことができれば、多くのプログラムで最短4年で卒業が可能になります。

長期休暇期間に短期海外語学研修、ティーチング・インターンシップ・プログラム(TIP)、半年または1年かけて中期留学、認定留学や学部派遣交換留学に参加する等、様々な方法があります。

4年間での卒業を希望する場合は、あらかじめ綿密な履修・留学計画を立てる必要がありますが、留学を通して得るものは決して小さくはないはずです。日本を飛び出して広い世界を覗いてみませんか。

ティーチング・インターンシップ・プログラム(ニュージーランド)

国際教養学科4年 山梨 真里奈さん

ニュージーランドで約2か月間、英語を使いながら日本語を教えるプログラムに参加しました。

初めは不安や緊張もありましたが、先生や生徒、ホストファミリーなど多くの人に支えられ、貴重な経験ができました。教師になるか迷いながらの参加でしたが、この体験を通して改めて日本語教員になりたいという思いが強くなりました。他文化や習慣に触れ、海外ならではの学びと出会いに満ちた時間を過ごすことができました。



令和7年度 国際関係学部 留学者(予定)

留学(派遣)

国際関係学部派遣交換留学・・・3名
(アメリカ、韓国、ドイツ)

認定留学・・・・・・・・・・・・・・14名
(オーストラリア、カナダ、韓国、台湾、中国)

短期海外語学研修

トロント大学(カナダ)・・・・・・21名
サラマンカ大学(スペイン)・・5名
フライブルク大学(ドイツ)・・3名
慶熙大学校(韓国)・・・・・・・・4名

合計 50名



留学サポート

本学部では留学説明会や語学検定試験等を実施し、学生のサポートを行っています。

留学プログラム

- ・留学相談窓口
- ・募集説明会
本学部の留学制度を紹介する留学ガイダンスやプログラム別の募集説明会を実施
- ・参加者オリエンテーション
参加決定者を対象としたオリエンテーションを実施
- ・留学体験者との交流会
- ・海外留学単位認定説明会
単位認定希望者に説明会を実施

詳細は留学ガイドブックをご覧ください。

留学ガイドブックQR



危機管理

- ・海外留学保険説明会
- ・海外危機管理セミナー
海外渡航時の注意事項や身の守り方などを説明
- ・危機管理サポート
本学部の留学プログラム参加者(一部除く)を対象とした危機管理サポートサービスに加入

語学検定試験

- ・TOEFL®, TOEIC® 説明会
- ・TOEFL ITP®, TOEIC® L&R IPテスト
学部内で年に数回実施

お問い合わせ先

国際教育センター

C.I.E.L.D.(Center for International Education and Language Development)

TEL.055-980-0962 E-mail:ir-cield1@nihon-u.ac.jp ※電話またはメールにてお問い合わせください。

窓口業務取扱時間：平日9時～17時／土曜9時～13時※夏季休暇中は取扱時間等が異なります。

今後の就職活動（就職指導担当）

多彩な学問領域、13言語が学べる国際関係学部学生の将来は、可能性に満ち溢れています。就職指導課では、この可能性を現実のものにするために、国際関係学部・短期大学部（三島校舎）ともに、個々の学生の希望に沿ってキャリア支援サポートを行っています。就職希望学生の就職率も年々向上し、2025年3月卒業生の就職率は全国平均を上回っています。

今日、企業は学生に対してコミュニケーション能力、さらに主体性と協調性のバランス等を以前にも増して求めています。そして、就職活動の実質的な開始時期も早まっています。就職活動に必要な基本的能力を1年次から高めるため、就職指導課では年間を通して、自己分析、業界・企業研究、ES及び面接指導、学部内合同企業説明会など、実践的なガイダンスを学部生・短期大学部生に向けて開催しています。また就職活動にとって大切な情報収集のスピード化に伴い、各企業からの求人、インターンシップ情報は、国際関係学部就職LINE等で迅速に学生に提供されています。

こうして就職指導課では教員、職員が連携を取りながら、学生のみなさんが希望する企業等での早期内定を獲得できるよう支援しています。

■就職指導課のサポート

就職指導課では、個別相談や履歴書・エントリーシートの添削指導、模擬面接などを通して皆さんの就職活動をしっかりサポートしています。

支援サイトの案内や求人紹介を行うほか、キャリア支援講座各種ガイダンスを実施しています。

早い時期から就職指導課とつながりを持つことが、就職先決定の第一歩です。就職・キャリアや就職活動に関する不安や悩みがありましたら、どのような事でも構いませんので、就職指導課までご連絡ください。

また、キャリアカウンセラーが就職に関する相談や悩みごと、エントリーシートや履歴書などの添削や模擬面接などを対面形式（予約制）で実施しています。

予約は1回につき1枠（就職相談・書類添削・面接練習のいずれか）です。

相談終了後に、次回の予約が可能となります。

相談希望する学生の方は、事務取扱時間内に就職指導課窓口（北口校舎2階）または電話予約（055-980-1905）にてご連絡ください。

■後学期（9月以降）の就職・キャリア支援講座（予定）

日程	講座名
9/18	就職総合ガイダンス【大学院・学部3年生・短大1年生対象】
9/25	筆記試験の重要性とSPI模擬受検
9月下旬	資格・公務員講座ガイダンス〔Video On Demand〕
9月下旬	自分自身のキャリアデザインを考える〔Video On Demand〕
10/2	基幹講座「自己PR・ガクチカの書き方」
10/9	外国人留学生就職ガイダンス 基幹講座「業界・企業・職種研究の仕方」
10/16	基幹講座「グループディスカッション・面接対策講座」
10/30	就職総合ガイダンス【学部2年生対象】
11/6	基幹講座「自分自身を知り自己分析をしてみよう」
11/13	基幹講座「自己分析から自己PR・ガクチカを書いてみよう」
11/20	基幹講座「業界企業研究の必要性を知り、志望動機を作成してみよう」
11/27	基幹講座「面接・グループディスカッション対策講座」
12/4	内定者との座談会
12/11	基幹講座「メイクアップ・スーツ着こなし講座」（予定）
1/27	実践講座「グループディスカッション体験講座」
1/29	実践講座「面接体験・対策講座」
2/5	学内合同業界・企業研究セミナー（予定）
2/6	学内合同業界・企業研究セミナー（予定）
2/10	筆記試験対策（SPI）講座集中講座
2/19	就活直前対策総ざらい講座
2/24	基幹講座 夏のインターンシップに向けて今から準備しておきたいこと【学部2年生対象】

■2024年度卒業生の 就職希望者に占める就職率

学部・学科	
国際関係学部	98.6%
短期大学部ビジネス教養学科	100%
短期大学部食物栄養学科	97.4%
専攻科食物栄養専攻	100%

※ 9月卒業生含む

学科別の就職状況（主な就職先）等については以下のリンク先よりご確認ください。

【学部】<https://www.ir.nihon-u.ac.jp/career/ir-results/>

【短大】<https://www.ir.nihon-u.ac.jp/jc/career/>

～保護者の方へ～

今日の就職活動は、開始の時期にも個人差があり、選考方法もますます多様化しています。就職活動そのものが複雑になったことで、保護者の皆様にも現在の就職状況を把握し活動内容をご理解した上で、より積極的にお子様と対話し、相談に乗っていただきたいと考えております。

「今どきの就職活動事情－お子様を支援する方法とは－」の動画2本（前編・後編）を作成しておりますのでご視聴いただき、就職活動を支援する際の一助にいただければ幸いです。

<https://youtu.be/H9G1tRGEHC0>

①【前編】(30:14)

https://youtu.be/_t4EEc1QRNc

②【後編】(29:46)